

# 園長たより

No. 7

「劇遊び発表会」感想2 \*保護者感想(一部抜粋)

## 〇年長組

・どの子ども大きい声で、はっきりと言っていた。年少さんから年長さんの順番で行うので、本当にきく組の成長を感じることができた。先生の苦勞と子供たちの頑張りの結果だと先生のコメントと涙を見て思った。感動して号泣した。

・最後の劇遊び発表会、すごく成長したと思った。年長さんになって一人のセリフがあり、ちゃんと言えるか声が小さくて、皆に聞こえるか、心配していた。本番ではみんなにちゃんと聞こえる声だった。休んでばかりだったが、セリフが言えて最後まで皆と一緒に協力して発表会が

無事に出来、目がうるうるして涙がでそうになった。

・幼稚園最後の劇遊び発表会、今年もたくさん感動させてもらった。今までは、皆で歌ったり、踊ったり、セリフを言ったりしていたのが年長さんになって、一人ひとりのセリフで劇が進んでいって、子供たちの成長を感じた。家では、いつも間違ってしまうというセリフを何度も練習して、本番では間違えることなく

言えていたのでよかった。知らない話だったが、健気な青鬼さんの姿に泣けてしまった。子供たちが上手だったのでストーリーもしっかり楽しめた。

・今回の劇を観て、この三年間でしっかり成長したなと思った。他の子と比べるとしっかりできていないところは、あるかも知れないが、劇が終わって、皆の前で感想を言えたことに親として感動した。今までは、そのような積極性は見られなかったからだ。

・一人ひとりが与えられたセリフを大きな声ではっきりと言いとても堂々として、自信に満ちた劇だった。





## 〇年中組

- ・初めての劇遊びだった。セリフもしっかり覚えて、大きな声でセリフを言って、とても楽しそうだった。他のお友達が話した後、少し間を置いて皆で声を合わせてセリフを言うところなどは、運動会が終わり二ヶ月ちよつとで、さらに成長が見られて嬉しく思う。
- ・かぶり物を自分で作ったんだよ。と

嬉しそうだった。劇の前にも、帽子見てねと言っていた。ダンス、歌プラス道具を自分で作ったことで、より役に愛着が湧いた様子だった。

・昨年と比べて、どのくらい成長しているのか楽しみにしていた。セリフを言うところ、次にどの動きをするのか等、だいぶ自分達で行動できていたが、ときには先生のささやきが裏から聞こえてきて、かわいいな~と思った。家では、「上手に出来なかったらどうしようと...」結果ばかりを気にしていたが、拍手をもらえた喜びや劇を通して学んだこと全てが自信になってくれたらと思う。

・とても頑張っていたらしく、家でも「みちやだめだからね」って部屋で戸を閉めて、練習していた。本番二日とも観たかったが、金曜日は観に行けず「え~」って言っていたが、土曜日はしっかりできていたと思っていたら「あそこはこうするんだっとなあ」と反省会もして、向上心が、親としても嬉しかった。出来ることがどんどん増えていき、「やりたい できるもん」が多くなっていっている。うさぎ役がとても楽しかったらしく、色々話をしてくれている顔がキラキラだった。



・今回くまの役をやるということで、早くから張り切って楽しみにしていた。毎日、夜は疲れてこてつと眠る様子から、劇遊び発表会の練習でがんばり、くじらでもがんばっていることが、想像できた。仲間と同じ課題に向かって力を合わせて練習することは、成長に大いに役立っていると思う。たんぽぽの時より確実に表現力も豊かになった。

・劇の練習どう？どんな歌を歌うの？セリフは覚えたの？と聞いても「う~んまあまあ」とはっきりしない返事が多かったので、大丈夫かと少し心配だった。でも、発表会では、大きな声ではっきりセリフを言えて、ダンスも上手に踊っていてびっくりした。人前にでると恥ずかしがってもじもじすることもあるのに、こ

んなにしっかり劇ができていることが、正直意外で新たな一面を見た気がした。  
・今年も自宅で歌やダンスの練習を見せてくれていたので楽しみにしていた。当日、張り切って前の席を確保したところ、娘は私の視線をととても気にして、もじもじ、キョロキョロ。あれっと思ったが、出番の時の流れや並び方など自分の役のグループのことなど、とても気にしていたので、去年より成長したなと嬉しく思った。

## 〇年少組

・三月生まれの我が子が入園するときから色々と不安だった。園の話を全くしないので心配事だらけの毎日だったので、あんなに大きな声でみんなと一緒に楽しそうにやっている姿を見て本当に感動した。どの子も成長を感じる劇遊びだった。

・1年前のどんぐり教室での劇遊びではほとんど舞台上で動かなかった息子が、今年の劇では、しっかりダンスを踊ったり、セリフを言ったりしていて、とても感動した。劇の内容もそれぞれのクラスで教育につながるストーリーで、歌も家に帰ってからも親子や兄弟で楽しめた。自分の子どもだけでなく、お友達の成長を見られる場で良い。



・一日目のこと。娘はリス役だった。リスが出てきて最初は楽しそうに一生懸命踊っていた。バスケットとの中にあるパンを食べる場面で、他のリスが食べ始めるなか、娘の手元にパンはなく、戸惑った表情になり、そこから一切体が動かなくなってしまった。私は、初めて劇の内容を見たが、すぐに想像がついた。練習では、パンを食べ

られていたのに、本番で手にできなかったのだろうと。今にも泣き出しそうな娘だったが、私はここからこの状況をどう乗り切っていくのか内心楽しみだった。普段、自分の思い通りにならないと、泣いて騒ぐ子だ。舞台上で泣いてしまうのか、どうするのだろうと想着っていると、リスの場面が終わりしばらくして全員出てきた。なんと娘は歌って踊っていた。だから、楽しそうにとまでいかないものの、何かをこらえるように一生懸命やろうとしている姿とこの本番の舞台上、娘一人でそこまで切り替えられたことに、涙が出るほど感動した。上の子と合わせて四年目の劇遊びだったが、今までとは違う感動だった。